

ツクモ草を愛でる

ハケ岳 {硫黄岳～横岳～赤岳}

日程：2015年 6月6日～7日

メンバー：斎藤光子 (L)、F、H、T

報告：斎藤光子



美濃戸口から赤岳山荘まで1時間を要する林道歩きを山荘まで車で入る。美濃戸山荘から北沢林道を行き、堰堤広場の橋を渡るといよいよ登山道に入って行く。今にも降り出しそうな空模様の中、遅い芽吹き of 柔らかい緑色の木々の葉、そしてそこかしこに群生して咲く白い花のミツバオーレン、黄色の花のキバナノコマノツメに見惚れつつ今日の宿、赤岳鉱泉に着く。速い到着だったので昼食後、中山展望台までピストンする。展望台からは一瞬切れた雲間から硫黄岳、横岳の姿が現れる。

二日目、今日はハケ岳開山祭の日。毎年6月第1週の日曜日は赤岳頂上にて昼12時からイベントが行われる。ツクモ草の開花も丁度この時期と重なって大変な人混みになる。

気持ちのどこかに赤岳頂上を12時前には通過したいと云う思いがあったのか鉱泉を出発して、急登にもかかわらず知らず知らずペースが上がる。

硫黄岳頂上からの展望も今日は期待はずれ。

硫黄岳山荘を過ぎ稜線に出ると、ウルップ草、オヤマノエンドウが盛りと咲き誇っている。

お目当てのツクモ草は横岳を過ぎたあたりからチラホラと目に付くが、曇が多く日差しが足りなくどの花もつぼんでいる。花も少なくなっているような？きれいに開いた花を見せてあげたい・・・。

岩稜を一つ一つクリアして行くうち、太陽もまぶしく暑くなってきた。

心配を他所に、いつもの場所で開花しているツクモ草が目立つようになる。うす黄色の可憐な花に心が和む。

開山祭真只中の赤岳頂上に突入となり、溢れ落ちそうな人、人、人。

山の歌を合唱、御神酒を振舞われ開山祭終了。(以前は神主さんが来てお祓いをして

いましてが)

下山も30分待ちの大渋滞。ガシタ岩場、クサリ場も数珠つなぎ状態でしたが、下るにつれ渋滞も

緩和され、行者小屋で冷たい水を補給し南沢を下山する。

平坦な樹林に入るとロープで保護された幾つかの「ホテイラン」が咲いている。

白とピンクの配色、形と云い本当に美しい花です。

花の余韻を残しつつ堰堤を越えて山行の終了です。

<コースタイム>

6日 美濃戸山荘 (10:30) ~ 堰堤広場 (11:20) ~ 赤岳鉱泉 (12:20)

* 赤岳鉱泉 (13:15) ~ 中山乗越 (13:40) ~ 中山展望台 (13:45~13:55) ~ 鉱泉 (14:15)

7日 鉱泉 (6:45) ~ 赤岩の頭 (8:00~8:10) ~ 硫黄岳 (8:30) ~ 硫黄岳山荘 (8:50) ~ 横岳 (9:45~10:00)

~ 地蔵の頭 (11:30) ~ 天望荘 (11:40~12:00) ~ 赤岳頂上 (12:30~13:00) ~ 行者小屋 (14:15~14:25)

~ 美濃戸山荘 (16:15)